

公益社団法人日本地震学会 2026 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 2026 年 5 月 26 日（火）18 時 00 分～18 時 45 分

2. 開催場所 幕張メッセ国際会議場 103

3. 総社員数 140 名

4. 出席社員数 出席代議員総数 114 名（定足数 71 名）
内通常代議員 98 名
役員代議員 16 名
出席代議員数（本人出席） 78 名
出席代議員数（議決権行使書出席） 36 名

5. 議長 通常代議員 尾鼻浩一郎

6. 出席役員	理事（会長）	久家	慶子
	理事（副会長）	加藤	愛太郎
	理事（副会長）	室谷	智子
	理事（常務理事）	宮澤	理稔
	理事	浅野	陽一
	理事	加納	靖之
	理事	篠原	雅尚
	理事	武村	俊介
	理事	中原	恒
	理事	西田	究
	理事	馬場	俊孝
	理事	廣瀬	仁
	理事	深畑	幸俊
	監事	植竹	富一
	監事	谷岡	勇市郎
	監事	鈴木	善和

7. 議事録作成者 事務局 中西 のぶ江

8. 決議事項

- 第 1 号議案：2025 年度事業報告書承認の件
- 第 2 号議案：2025 年度収支決算報告書承認の件
- 第 3 号議案：役員選任の件
- 第 4 号議案：役員報酬の件
- 第 5 号議案：会費規程の件

9. 報告事項

1. 2026 年度事業計画の件
2. 2026 年度収支予算の件
3. 行動計画 2025 の件

10. 議事の経過の要領及びその結果

宮澤常務理事から定足数を充たす社員の出席が認められたので、定款第 32 条により公益社団法人日本地震学会 2026 年度定時社員総会を開催する旨の宣言があり、久家会長より挨拶が行われた。引き続き議長に尾鼻浩一郎氏を選出した。議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり、久家慶子会長、加藤愛太郎副会長の理事 2 名を議事録署名人に選任したい旨を諮り、満場一致でこれを可決した。続いて、次の議案について逐次審議することとなった。

- 第 1 号議案 2025 年度事業報告書承認の件
議長の指名により、宮澤常務理事から 2025 年度の事業報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。質疑応答はなく、議長は議案を諮り賛成多数で本議案を承認した。
- 第 2 号議案 2025 年度収支決算報告書承認の件
議長の指名により、浅野会計担当理事から 2025 年度の収支決算報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。科学研究費（研究成果公開促進費）の採択状況について質問があり、毎回採択されている状況ではないと回答した。議長は議案を諮り賛成多数で本議案を承認した。
- 第 3 号議案 理事及び監事選任の件
議長の指名により、宮澤常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨の説明が行われた。理事候補者 16 名、監事候補者 3 名の選任について候補者 1 名毎に審議した結果、賛成多数でこれを承認した。選任された理事及び監事は以下の通りである。なお、総会に出席した被選任者は、席上その就任を承諾した。

定款第 17 条第 1 項による理事

理 事 久家 慶子

理 事 浅野 公之

理 事 有吉 慶介

理 事 伊藤 喜宏

理 事 内田 直希

理 事 内出 崇彦

理 事 江本 賢太郎

理 事 加納 靖之

理 事 土井 恵治

理 事 遠田 晋次

理 事 中原 恒

理 事 中東 和夫

理 事 平松 良浩

理 事 前田 拓人

理 事 三宅 弘恵

定款第 17 条第 4 項による理事

理 事 伊東 優治

定款第 17 条第 1 項による監事

監 事 竹中 博士

監 事 藤原 広行

定款第 17 条第 5 項による監事

監 事 鈴木 善和

総会に出席した役員就任予定者は下記のとおりである。

久家慶子、浅野公之、有吉慶介、伊藤喜宏、内田直希、内出崇彦、江本賢太郎、加納靖之、遠田晋次、中原 恒、中東和夫、平松良浩、前田拓人、三宅弘恵、伊東優治、竹中博士、藤原広行、鈴木善和

第 4 号議案

役員報酬の件

議長の指名により、宮澤常務理事から選任された定款第 17 条第 5 項に

よる監事の報酬において配布資料に基づき説明が行われた。質疑応答はなく、議長は議案を諮り、賛成多数で承認した。

第 5 号議案 会費規程の件
議長の指名により、浅野会計担当理事から会費規程の改定について配布資料に基づき説明が行われた。質疑応答はなく、議長は議案を諮り、賛成多数で承認した。

報告事項 1 2026 年度事業計画の件
2025 年度第 6 回理事会（2026 年 3 月 9 日開催）で承認された 2026 年度事業計画について、宮澤常務理事から配布資料に基づき説明が行われた。

報告事項 2 2026 年度収支予算の件
2025 年度第 6 回理事会（2026 年 3 月 9 日開催）で承認された 2026 年度収支予算について、浅野会計担当理事から配布資料に基づき説明が行われた。

報告事項 3 行動計画 2025 の件
2025 年度第 6 回理事会（2026 年 3 月 9 日開催）で承認された行動計画 2025 について、久家会長から配布資料に基づき説明が行われた。行動計画は指針であり、提言の実行に向けてタクスフォースを立ち上げ検討していく予定であると説明された。行動計画 2025 について以下の質疑・意見があった。
・会員減少の影響を見込んだ学会活動の検討について質問があり、タクスフォースで検討していくことが回答された。また、今後の活動の検討について団体規模に見合うことは重要だが活発な活動は必要であるとの意見があった。
・学会誌「地震」発行収入による財政的重要性も考慮し、今後「地震」をどうするのかの議論が重要であるとの意見があった。
・国際的な活動についての記載が少ないのではとの意見があり、現在の国際的な活動は引き続き行っていくこと、国際的な活動の拡大については会員の負担が増える可能性および学会内で対照的な考えがあることが説明され、今後、より丁寧に議論したいとの回答があった。
・学会誌「地震」は歴史ある雑誌で学会にとって重要な事業であり、「地震」編集委員会として代議員をはじめ会員の皆さんと「地震」について考えていきたいとの意見があった。

11. 閉会

以上により本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。